

未来のまちをつくるあなたの声

投 函 日	令和7年4月1日
投 函 者	40代 男性
投 函 方 式	郵送
返信希望の有無	有
ホームページ等への掲載可否	可

【内 容】

知人が住む江府町のホームページを見ていた時、「あなたの声」を見つけ“どなたでもご利用できます。江府町にゆかりのある方などでも構いません”とありましたので米子市在住ですが「あなたの声」を書かせて頂きます。本当はパソコンを使いたかったのですが今調子が悪い為手紙にて失礼致します。まず江府町の印象ですが義務教育学校の設置や公営の学習塾、江府、日野、日南3町連携で設立運営している公設塾、奥大山江府学園の7～9年生がニュージーランドに語学研修に出かけるなど教育に力を入れておられる格好いい町だなという印象を受けました。公立の中学生が自治体のバックアップの下、海外で学べるというのは珍しいと思いますが意欲さえあれば公平にエントリー出来るというのは素晴らしい事だと思います。米子市でもこの様な取り組みが行われなかなと羨ましく思っております。そして江府町には「鳥取英語村」の村長の男性がおられたりと面白い場所があるのだなと興味が湧きました。今回私からの要望はバカロレア PYP と MYP を取り入れて頂きたいのです。高知県香美市立の小中学校にバカロレア PYP、MYP が公立の小中学校としては全国初で取り入れられました。

岡山県備前市立の小中学校もバカロレア候補校となった様です。

県内でも県立倉吉東高校にバカロレア DP が取り入れられました事は御存じの事と思います。国内の大学入試でもバカロレア利用入試を取り入れている大学は増えており、海外の大学に進学する際にも学力の証明になったりと世界的に通用する様で選択肢が広がります。小中学生のうちからバカロレア教育が普及、定着すれば、これからの人にも役立つのではないのでしょうか。

【回答】

バカロレアの導入についてのご意見、興味深く拝見しました。バカロレアが育む主体的な学びや国際的な視野は、これからの時代に求められる力を育成するうえで非常に有効であると考えております。

しかしながら、現状の小学校・中学校における教育環境や制度の整備状況を考えると、バカロレアを全面的に導入するには多くの課題があり、すぐに実現するのは難しいのが現実です。特

に、カリキュラムの大幅な見直しや教員体制の充実、保護者や地域社会への理解促進など、多方面での準備が求められます。

バカロレアの理念に学ぶべき点は多くあります。例えば、探究型の学習の推進や、批判的思考力、表現力の育成といった考え方は、現行の教育にも積極的に取り入れていきたいと考えます。奥大山江府学園で取り組んでいる特設の教科「ふるさと魅力発信科」は、まさに児童生徒が、江府町の自然環境や歴史や文化、身近な課題などについて、課題を見つけ探求し、広く発信していく取組です。このような特色のある教育活動をさらに充実していきたいと考えます。

今後は、バカロレアの精神を参考にしながら、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育の充実を図っていきたいと考えています。

貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。